

安全の為に必ずお守りください

警告

SPD-SLペダルは解除をしようとした場合のみ、解除されるように設計されています。転倒した際に、自然に解除される設計ではありません。意図しないときに解除すると、バランスを崩して転倒し安全上問題がある為です。

SPD-SL対応シューズを使用してください。

クリートは、シマノ純正クリート(SM-SH10/SM-SH11)を使用しシューズに確実に固定してください。

ペダルとクリート(シューズ)の装着・解除のメカニズムを使用前に理解してください。

ブレーキをかけ片足を地面につけて、クリートのペダルへの装着・解除を繰り返し練習し、十分に足を慣らしてから走行してください。

最初は平地を走行し、クリートのペダルへの装着・解除に充分慣れてください。

ペダルのクリート固定力を、自分に最適な強さに調整してから走行してください。

低速走行あるいは、停車する可能性がある場合(Uターン、交差点付近、登り坂、見通しの悪いカーブ等)は、いつでも足を地面に着けるように、事前にペダルからクリートを解除してください。

雨天時など、湿った地面を走行する場合は、ペダルのクリート固定力を通常より弱くしてください。

本来の脱着性能を維持するために、クリートおよびビンディング部に付着した泥などは取除いてください。

クリートが摩耗していないかどうか定期的にチェックしてください。摩耗している場合はクリートを取替えて、走行前に必ずペダルのクリート固定力を調整してください。クリートを交換しないで乗り続けると、ペダルからシューズが外れなかったり、予期せず外れたりして転倒し、重傷を負うことがあります。

夜間を走行する際は必ずリフレクターを取付けてください。リフレクターが損傷していたり汚れたままで乗車しないでください。自転車が確認されにくく危険です。

製品を取付ける時は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。

不明な点については自転車専門店にご相談ください。

取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

上記を厳守していただかないと、ペダルからシューズが外れなかったり、予期せず外れたりして転倒し、重傷を負うことがあります。

使用上の注意:

乗車前には締結部にガタ及び緩みの無いことを確認してください。(BB-FC, FC-PD)

乗車時のペダリングに異常を感じた時は再度点検をお願いします。

通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

SI-42T0A-003

PD-7810
PD-6620
PD-5610

SPD-SLペダル

ご使用方法

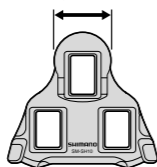
クリートの種類と使用方法

■ クリートの種類

SM-SH10

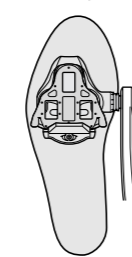
(オプション)

広い



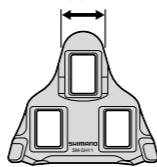
固定モード

シューズとペダルは固定されます。遊びはありません。



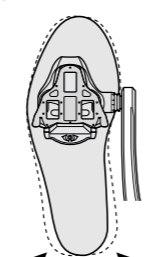
SM-SH11

狭い



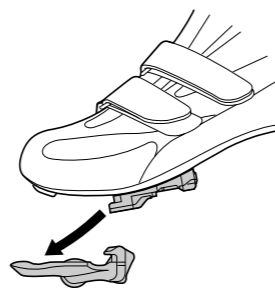
セルフアライニングモード

装着時に左右方向の遊びがあります。



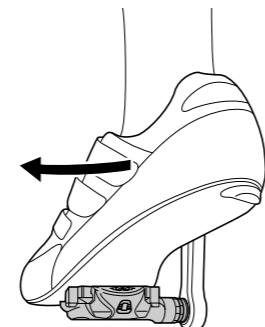
■ 装着方法

ペダルのビンディングに、クリートをななめうしろ方向から押し込みます。



■ 解除方法

かかとを外側にひねった場合のみ解除できます。



ご注意:

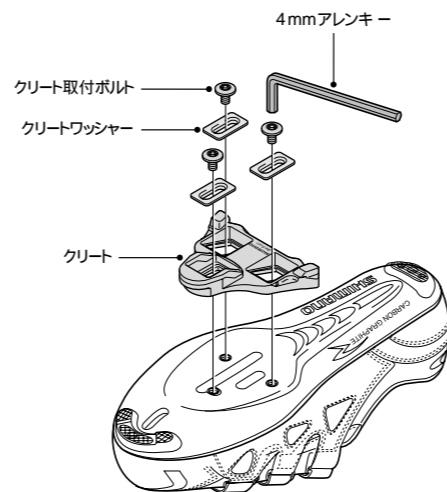
片足を地面につけ、繰り返し装着・解除の練習を行い、自分に最適なクリート固定力にセットしてください。

クリートの取付け

シューズの裏側から、クリートを図の順に取付け仮止めします。詳しくはシューズの取扱説明書をご覧ください。

ご注意:

クリートの取付けは、付属のクリート取付ボルトとクリートワッシャーをご使用ください。これ以外のクリート取付ボルトを使用した場合は、クリートの取付け部を破損する恐れがあります。

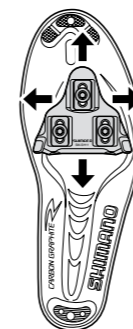


クリート位置の調整

1. クリート位置は、前後15mm、左右5mmの範囲で調整が可能です。クリートの仮止め後、片足づつ脱着を繰り返しながら調整を行い、自分に最適なクリート位置を決定してください。

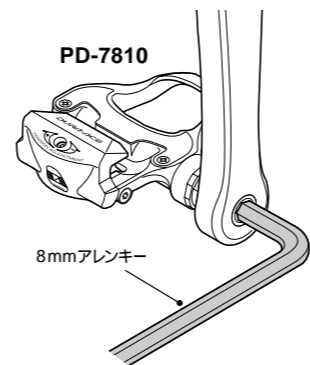
2. クリート位置の決定後、4mm Allenキーでクリート取付ボルトを確実に締付け固定します。

締付トルク:
5 ~ 6 N・m {50 ~ 60kgf・cm}

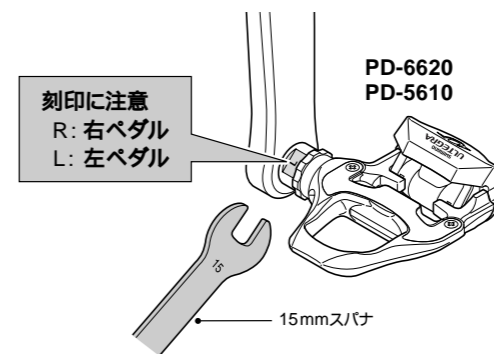


クランクへの取付け

PD-7810ペダルは8mm Allenキーを使用し、PD-6620/PD-5610ペダルは15mmスパナを使用して、クランクにペダルを取付けます。右ペダルは右ネジ、左ペダルは左ネジとなっています。



締付トルク:
35 ~ 55 N・m {350 ~ 550kgf・cm}



刻印に注意
R: 右ペダル
L: 左ペダル

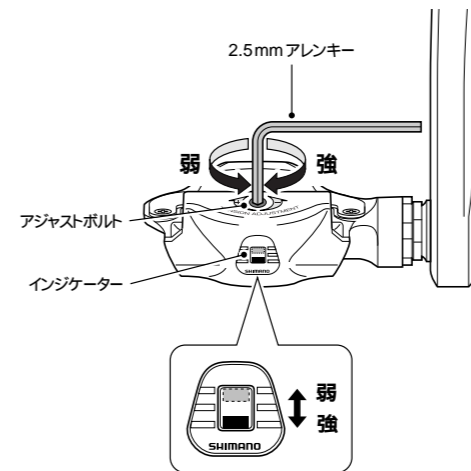
締付トルク:
35 ~ 55 N・m {350 ~ 550kgf・cm}

ご注意:

6mm Allenキーでは十分な締付トルクが確保できません。必ず15mmスパナを使用してください。

ビンディングのバネ力調整

バネ力の調整は、ペダル後部のアジャストボルトで行ないます。このとき、クリートを解除方向にしてバネ力の調整をしてください。両ペダルのバネ力が等しくなるように、インジケーターの位置およびアジャストボルトの段階数を確認してください。バネ力はアジャストボルト1回転で4段階に切り替わり、3回転まで回ります。



インジケーターが最強または最弱を示したら、それ以上ボルトを回さないでください。

ご注意:

- 不意にクリートが外れることを防ぐためにも、バネ力の調整を行ってください。
- バネ力にばらつきがあると左右で脱着の感覚が違いため、クリートの脱着が難しくなる恐れがあります。バネ力は左右とも、同じように調整してください。
- 万が一、スプリングプレートからアジャストボルトが抜けてしまった場合、分解・組立が必要となります。自転車専門店にご相談ください。

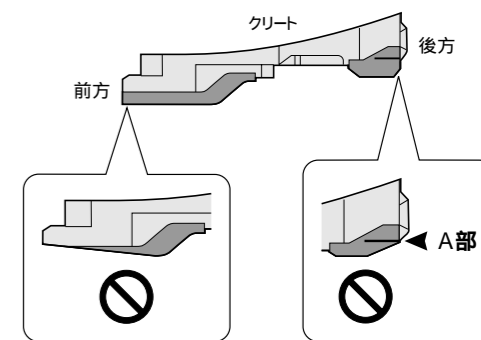
クリートの交換

クリートは消耗品ですので、定期的な交換が必要です。摩耗し解除が重く感じ始めたり、軽く感じ始めたら、早目に新しいクリートと交換してください。

ご注意:

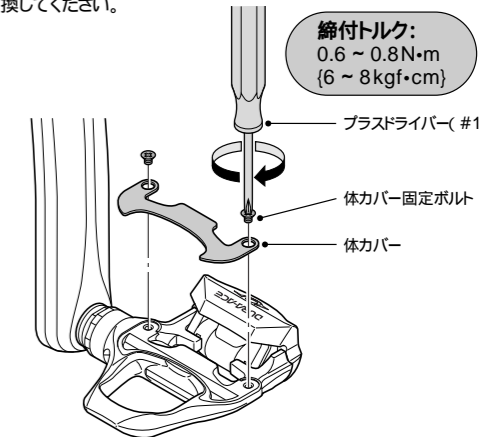
クリートの黄色(SM-SH11)または赤色(SM-SH10)の部分が摩耗したら新しいクリートに交換してください。

前方: クリートの下地の黒色が見えるようになったら交換します。
後方: 図のA部まで摩耗したら交換します。



体カバーの交換方法

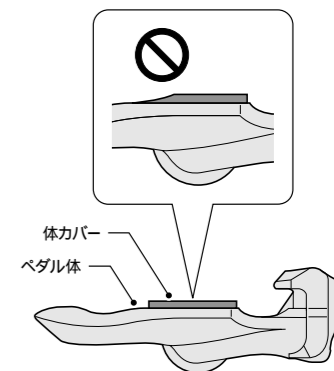
ペダルの体カバーが摩耗した場合は、下記のように別売りの体カバーと交換してください。



締付トルク:
0.6 ~ 0.8 N・m
{6 ~ 8kgf・cm}

ご注意:

体カバーは消耗品です。体カバーの一部がペダル体と同一面になる前に、新しい体カバーに交換してください。もし交換しないまま乗り続けると、ペダル体を傷付けます。また、体カバー固定ボルトには緩み止めボルトを採用していますので、緩めたときは新しい体カバー固定ボルトをご使用ください。



軸ユニットのメンテナンス

回転部分に異常のある場合は、調整が必要です。自転車専門店にご相談ください。

リフレクターの取付け(別売品)

別売リフレクター(SM-PD58)がございます。自転車専門店にお問合せください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961
Fax. 072-223-3460

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁目77番地 〒590-8577